

度以降の調査でおこなう予定にしている。

名蔵湾における過去5年間の漁獲量の変化は図12に示すとおりである。1981年から1982年度にかけて年間漁獲量は減少傾向がみられるが、その後1985年度まで次第に増加している。この原因は4月から6月にかけての月別漁獲量の多少が年間漁獲量の変動に大きく影響しているものと思われる。つまり、1985年度では5月に大量のアイゴ類を漁獲しているが、このことが年間漁獲量の増加要因になっているものと思われる。なお、1985年9月以降の漁獲量は1984年度に比べて低い傾向がみられる。また、1982年頃は名蔵湾後背地の土地改良事業等による赤土の流入がみられ、漁場が荒廃していたために漁獲量が減少したことが予想されるが、このことについてはより詳しい資料に基づいて検討する必要があるものと考えられる。

前年度の年間漁獲量を100とした場合の指数は'82年度89、'83年度128、'84年度110、'85年度101で、'82年度を100とした場合の'85年度の漁獲量は143である。

5. 人工礁調査

1985年11月20日に定点(図1)に設置している1.5m角型コンクリート礁の調査をおこなった。魚類等の蛸集状況は表5に示すとおり約12種類、90個体の魚類等が蛸集しておりヨスジフェダイ、ロクセンフェダイや稚エビ類が多くみられた。

表5 人工礁設置効果

1985.11.20

	数	場所
ロクセンフェダイ } ヨスジフェダイ }	50	I
ツバメウオ	3	I
ツノダシ	1	I
ハタタテダイ	1	I
ブダイ sp.	1	I
コトヒキ	1	I
ハタ sp.	1	I
チョウチョウウオ sp.	1	I
オジロスズメダイ	2	I
シマキンチャクフグ	1	I
稚エビ類	20-30	S

I: 礁内空間, S: 礁壁上

6. 水質調査

1985年4月12日、7月24日、11月13日、および1986年1月8日に定点(図1)で水質調査をおこなった。方法は前報と同様である。

表6 水質調査

調査地点 No.	水深 (m)	時刻	水温 (°C)	PH	塩分濃度 (‰)	DO (ml/l)	COD (ppm)	PO ₄ -P	NH ₄ -N (ug-at/l)	NO ₂ -N	NO ₃ -N
1985.4.12. 曇り											
1	0	9:09	22.2	8.26	34.44	4.09	0.03	0.03	0.58	0.04	0.26
	2.5		22.1	8.28	34.49	4.22	0.11	0.03	0.58	0.03	0.17
2	0	9:15	22.3	8.29	34.49	4.32	0.03	0.02	0.48	0.04	0.22
	2		22.2	8.29	34.40	4.27	0.20	0.08	0.91	0.03	0.37
3	0	9:23	22.1	8.28	34.54	4.04	0.18	0.05	0.79	0.03	0.39
	1.8		21.7	8.28	34.55	4.27	0.15	0.03	1.09	0.03	0.30
7.24. 晴れ											
1	0	9:56	30.3	8.19	33.41	4.25	0.27	0.03	2.13	0.02	0.10
	2		31.1	8.20	33.68	4.60	0.06	0.01	2.06	0.04	0.27
2	0	10:05	30.4	8.19	33.58	4.15	0.15	0.03	1.74	0.04	0.32
	2		30.0	8.17	33.86	4.07	0.26	0.06	1.94	0.06	0.30
3	0	10:12	30.3	8.18	33.66	4.15	0.18	0.01	2.97	0.04	0.36
	2		29.9	8.13	33.95	3.77	0.05	0.06	2.45	0.10	0.87
11.13. 雨											
1	0	9:50	23.0	8.18	34.33	3.95	<0.01	<0.01	1.20	0.03	0.30
	3		-	8.20	34.12	-	0.14	<0.01	1.05	0.03	0.31
2	0	9:59	-	8.20	34.19	3.87	0.14	0.04	0.70	0.04	0.28
	2		-	8.20	33.88	3.91	<0.01	<0.01	0.80	0.03	0.30
3	0	10:09	-	8.17	33.97	3.73	0.18	<0.01	1.00	0.03	0.31
	1.5		-	8.16	33.65	3.65	0.17	<0.01	0.85	0.04	0.30
1986.1.8. 晴れ											
1	0	9:37	20.1	8.39	25.2	4.92	0.25	0.07	0.43	0.14	0.43
	3		19.7	8.46	25.2	-	0.07	0.07	0.43	0.11	0.48
2	0	9:41	19.0	8.47	25.3	4.98	0.03	0.07	0.43	0.09	0.40
	3		18.3	8.47	25.3	4.86	0.07	0.07	0.57	0.09	0.32
3	0	9:47	19.5	8.49	25.2	5.05	0.12	0.14	0.57	0.11	0.41
	3		18.8	8.47	25.2	4.97	0.30	0.14	0.57	0.07	0.47

結果は表6に示すとおり1985年4月12日の水温は21.7~22.3℃、PHは8.26~8.29、塩分濃度は34.40~34.55‰、DOは4.04~4.32 ml/l、およびCODは0.03~0.20 ppmである。またPO₄-Pは0.02~0.08 ug-at/l、NH₄-Nは0.48~1.09 ug-at/l、NO₂-Nは0.03~0.04 ug-at/l、およびNO₃-Nは0.17~0.39 ug-at/lである。7月24日の水温は29.9~31.1℃、PHは8.13~8.20、塩分濃度は33.41~33.95‰、DOは3.77~4.60 ml/l、およびCODは0.05~0.27 ppmである。またPO₄-Pは0.01~0.06 ug-at/l、NH₄-Nは1.74~2.97 ug-at/l、NO₂-Nは0.02~0.10 ug-at/l、NO₃-Nは0.10~0.87 ug-at/lである。11月13日の水温は約23℃、PHは8.16~8.20、塩分濃度は